



赤麻小だより



令和4年度 第7号

令和4年9月1日

発行：栃木市立赤麻小学校長 印部 稔

【学校教育目標】 あかるい子 かしい子 たくまい子

2 学期スタート

夏休みが終わり、子どもたちの元気な顔が学校に戻ってきました。今日から2学期が始まりました。夏休み中大きな事故もなく、無事に2学期を迎えることができました。これも保護者や地域の皆様が子どもたちの生活を見守ってくださったおかげです。ありがとうございました。2学期は運動会や修学旅行、宿泊学習や校外学習等、学校行事がたくさんあります。新型コロナウイルスは未だに収束しませんが、2学期も感染防止に努めるとともに、熱中症にも気を付け、実りの学期となるよう、教職員一同力を合わせて取り組んで参ります。保護者の皆様にも1学期に引き続きご協力いただくことも多くなるかと思いますが、よろしくお祈りします。

さて、始業式では子どもたちに次のような話をしました。（1学期の終業式に続き、5、6年生は体育館で、1～4年生はリモートによる大型テレビの映像で行いました。）

夏休みが終わりました。42日間という長い夏休みでしたが、事故や事件に遭う人がなく、今日皆さんの元気な顔を見ることができてとても嬉しく思っています。今日から2学期が始まります。2学期は運動会を始め、修学旅行、4、5年生の宿泊学習や各学年の校外学習、そして今年は半日ですが3年ぶりに「あかまっ子祭」も実施されます。持久走大会もあります。大きな行事が最も多く、学校に来る日も最も多い学期です。1学期に身につけた力を元に、行事はもちろん、普段の授業を通して、一人一人がしっかりと成長するのを楽しみにしています。ただ、残念ながら、新型コロナウイルスはまだ感染拡大が収まっていません。2学期も、消毒や体温チェック、マスク着用等、一人一人ができることをしっかり行って、コロナの感染拡大を防止しましょう。ところで、1学期の終業式に、「あかまっ子の合い言葉」が実行できたかどうか担任の先生と振り返ってもらいました。その結果をお伝えします。

〈なぜ(1) 学習で〉 全体の75%、全校児童137人中96人ができていると答えてくれました。まずまずの結果ですが、もう少し頑張ってもらいたいところです。なぜ?と考えるのがなぜ大切なのかは何度も話してきました。自分から勉強できるようになるための第一歩です。いつも「なぜそうなるのか」考えて学習する習慣を付けましょう。

〈なぜ(2) 学習以外で〉 全体の68%、87人ができていると答えてくれました。昨年度の結果と比べるととても少なくなっています。残念です。自分で考えて行動できるようになるための一番のポイントです。自然になぜ?を考えられるようになってください。

〈あ 明るいあいさつ進んでしよう〉 全体の66%、84人ができていると答えてくれました。残念ながら、今回の項目の中で最もよくない結果でした。あいさつのよさ、大切さについては、いつも話してきました。あいさつをして損をすることはありません。いいことがいっぱいあります。もっとたくさんの人に挨拶して欲しいです。2学期、特に頑張ってください。

〈か 考え合い 学び合おう〉 全体の81%、104人ができていると答えてくれました。2学期は、一年間の中で最も長く、最も勉強に適した学期です。友達とたくさん考え合ったり、教え合ったりして、お互いに賢くなってください。

〈まっ まっすぐ目を見て、話を聞こう〉 全体の86%、110人ができていると答えてくれました。今回の項目の中で最もよい結果でした。話をしっかり聞くと言うことは、勉強ができるようになるための、そして友達と仲良くなるための一番のポイントです。2学期も実行しましょう。

〈こ 困難も不撓不屈で頑張ろう〉 全体の77%、98人ができていると答えてくれました。自主学習等、根気強く頑張った人が1学期たくさんいましたが、もっと増えて欲しいです。2学期には運動会や、持久走大会があります。運動面でもあきらめずに頑張り、成長しましょう。

さて、1学期には自主学習1冊終了者が65人出ました。あいさつ名人も1人出ました。2学期は何人増えてくれるのでしょうか?また、「自主学習の達人」の出現も期待したいと思います。長い2学期ですが、楽しい行事もいっぱいあります。あかまっこの合い言葉を考え、実行しながら、皆さんが成長してくれるのを楽しみにしています。先生方も頑張ります。ともに、頑張りましょう!!

2学期は心や体を成長させ、学力を伸ばすのにも最適な学期です。実のある充実した2学期になるよう、支援して参りますので、ご理解ご協力をよろしくお祈りします。

夏休み、先生たちも学んでいます



夏休み中、先生たちも学んでいます。昨年この学校だよりでお知らせしましたが、今年もとちぎっ子学習状況調査結果の分析やQ-Uテスト結果の分析などをして、2学期以降の指導にどのように生かしていけばよいかを協議しました。

また、今年度の学校課題であるICT（GIGAタブレット）の活用について、特に授業でどう活用していくかを中心テーマに、栃木市教育委員会の先生を講師としてお招きして、校内研修を行いました。2学期の教育活動に確実に生かしていきたいと思ひます。

小中一貫教育の推進

栃木市では「学校・家庭・地域が目指す子ども像を共有し、義務教育9年間の一貫性のある教育により、未来を担う子どもたちに生きる力を育む」ことをねらいとして、平成29年度より市内全校で小中一貫教育を行っています。本校も藤岡中ブロックの4校（藤岡中・藤岡小・三嶋小・部屋小）とともに、下記の「藤岡中ブロックの目指す子ども像」を実現するために小中一貫教育に取り組んでいます。

藤岡中ブロック「めざす児童生徒像」
「夢と故郷への誇りを持ち、たくましく未来を切り拓く児童生徒」
（知）自ら問い、考え、学び合い、高め合う児童生徒
（徳）思いやりと向上心を持ち、自他を尊重する児童生徒
（体）心身共に健康で、粘り強く最後までやりぬく児童生徒

今年度の重点目標は、次の三点です。（昨年度の成果と課題を元に決定）

- ①自分の目標を持ち、集団との関わりの中で伝え合い、学びを深め合う児童生徒の育成
- ②多様性を認め合い、異なる意見や考えを尊重し、協働できる児童生徒の育成
- ③健康・安全な生活習慣を身に付け、運動に親しむ児童生徒の育成

この重点目標の達成のために、推進委員会（年3回）と合同研修会（藤岡中ブロックのほぼ全教員が参加）を行っています。合同研修会は5月30日に1回目を行いました。（推進委員は藤岡中にて、他の職員はオンラインで実施）重点目標の①については「学習指導部」、②については「児童生徒指導部」、③については「健康安全指導部」に分かれて協議を行い、これから実践することを確認し合いました。夏休み中の8月4日（木）にはオンラインで2回目の合同研修会を行いました。部会ごとの協議の後、栃木県スクールカウンセラースーパーバイザーの先生による講話・演習「児童生徒の援助希求能力を高める教育相談体制研修」を行い、全教員が参加しました。藤岡地区の小中学校が同じ目標に向かって協働できるよう、今後も小中一貫教育を推進していきます。



「あったか栃木いじめ防止子どもフォーラム」に参加

8月9日（火）、「あったか栃木いじめ防止子どもフォーラム」が実施され、本校からも6年生の2名が参加しました。高校生の進行の元、市内の3校（三嶋小・千塚小・皆川城東小）の6年生といじめ問題に対する意見交換を行いました。3年ぶりの開催で、今回はオンラインで実施されました。本校の2名も積極的に意見を述べ、終了後には「参加してよかった」「他校の6年生と意見交換ができてよかった」という感想が聞かれました。2学期に全校生への報告の場を設ける予定です。



カヌー教室を実施

夏休み中の8月1日（月）、3年ぶりに「子どもカヌー教室」が開催されました。「藤岡地域づくり推進課」主催ですが、本校のプールを使い、午前、午後の2回、それぞれ3名ずつの計6名の本校児童が参加しました。それぞれ、1時間30分の活動でカヌーの基本的な漕ぎ方や方向転換、転覆時や川や湖での水難事故からの脱出の仕方等も学びました。本校職員も何名か参加し、楽しく活動しました。

